

# iBeacon相互シェアプラットフォーム事業 Beacon Bank

## 今後日本で数百万個導入されるBeaconを一括管理・シェアできるプラットフォーム

### シェアすることで エリアプロモーションが進化

自社施設内



商圈全体

自分の店舗だけでなく、最寄り駅やターミナル駅などの町中にあるBeaconから、情報やクーポンをプッシュ配信。

エリアごとに配信内容を変えるなど、細かなアプローチも可能。

### シェアすることで ビーコンサービスが進化

特定事業者のもの



誰でも提供可能

Beaconを持っていない個人でも、ビーコンサービスの提供が可能に。  
マーケティングなどの企業が使いがちな用途以外にも、リアルな場所と紐づいたさまざまなサービス展開される可能性が広がります。



### シェアすることで 行動分析が進化

自社施設内



顧客行動範囲全て

日本中のBeaconの反応ログが取得できることで、アプリユーザがよく訪れる場所や店舗までの重要導線まで全てが明らかに。

各商圈エリアの評価や、屋外広告出稿・イベントなどプロモーション計画の参考情報としても活用可能に。

### シェアすることで 地域が進化

個別企業のもの



みんなのもの

ほとんど投資することなく、防災情報・観光情報など、地域の充実のための配信にも使えるようになります。

また周辺エリアからの集客や相互送客も含めた地域活性化施策としてもご活用いただけます。

# Beacon Bankビジネス概要

**無償提供**で登録Beacon・アプリ・利用者数を増やして日本最大のプラットフォームに。「ビッグデータ解析」や「新広告」として事業化



モバイルアプリ開発  
会社向けサービス

多くのBeaconノウハウが反映されたプログラムを無償提供



アプリ提供事業社  
Beacon保有会社向け  
サービス



基本機能は全て無料で提供。上位サービスや、共有するというプラットフォームの思想に沿わない設定にのみ課金



広告主向けサービス

Beacon位置情報に対応した配信広告

コンサルティング

- オムニチャネル戦略策定などの戦略コンサルティング
- ビーコンサービスや実証実験の企画・開発・運営支援
- ビッグデータ解析

# Beacon Bankの事業性

Beaconによるプッシュ配信は、メール配信などの既存手法に比べて効果は「10倍以上」

## 事例

2ヶ月間大規模商業施設全体に大量のBeaconを設置し、特定のファニチャーショップのクーポンの訴求効果を実証。プッシュ配信すると、メール配信に比べて開封率は約10倍、来店してのクーポン利用率は20倍以上の結果となった。

Pushなしクーポン（メルマガによる告知、アプリ内コンテンツ掲載のみ）

開封率	クーポン利用率
6%	1%未満

Beacon Push通知（プッシュ内容：店舗案内）

開封率	クーポン利用率
50-60%	10-20%

Beacon Push通知（プッシュ内容：タイムセール訴求）

開封率	クーポン利用率
60-70%	20-30%

- プッシュ配信告知の開封率は通常の約10倍
- 店舗外の近隣からのBeaconによる集客効果は極めて高く、クーポン利用率は約20倍

- ユーザのいる場所/状況/タイミングに合わせた内容はさらに訴求効果が高い

Beaconを活用した広告は、ユーザの場所や行動履歴に応じた効果の高い新たなエリアプロモーション手法として、年間1,900億円とも言われる交通広告にせまる市場を創出する可能性を秘めている。

設置拠点	1日の配信回数 / 拠点	1年	1配信単価	年間事業規模
1,000,000 箇所	× 100 回/拠点・日	× 365 日	× 5 円	= 1,825億円